

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道356号 <small>おみがわとうのしょう</small> 小見川東庄バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 千葉県	
起終点 自：千葉県香取郡東庄町新宿 至：千葉県香取郡小見川町小見川	延長	8.7 km	
事業概要 一般国道356号は、千葉県銚子市を起点とし、佐原市を経て我孫子市に至る延長約110kmの幹線道路である。小見川東庄バイパスは、小見川町の中心部の交通混雑を解消し、東関道水戸線の佐原・香取IC及び銚子方面への物流対策を目的とした延長8.7kmの2車線道路である。			
S59年度事業化	都市計画決定なし	S60年度用地着手	H4年度工事着手
全体事業費	約60億円	事業進捗率	68%
計画交通量	10,800台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6	総費用 (残事業)/ (事業全体) 22/55億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 87/87億円
	(残事業) 4.0	(事業費：16/49億円) (維持管理費：6/6億円)	(走行時間短縮便益：98/98億円) (走行費用減少便益：-5/-5億円) (交通事故減少便益：-6/-6億円)
基準年 平成15年			
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（JR成田線の踏切2箇所の除却） ・災害への備え（緊急輸送道路1次路線） ・生活環境の改善・保全（利根川の景観確保）			
他4項目に該当（定量的評価項目を除く）			
関係する地方公共団体等の意見 国道356号は、成田空港や内陸工業団地を生かしたまちづくりの支援と地域活性化を図るため、必要不可欠であると期待されており、佐原市をはじめとする関係5市5町1村の首長、県議会議員で構成される国道356号整備促進期成同盟より早期整備の要望（平成15年11月20日）を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 成田空港の機能強化とこれに伴う内陸工業団地の拡充、さらに茨城県との連携強化により、交通量が増大しており、交通渋滞が発生し経済活動や日常生活に支障をきたしている。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 現在までに1.7kmを部分供用し、災害のあった現道の代替機能を確保したところであり、残る部分についても平成15年度中に用地買収が完了する見込である。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 本道路は、利根川の堤防に沿い、堤防と一体となった構造のため、河川管理者との調整に時間を要したため、事業が長期化している。			
施設の構造や工法の変更等 ルート上で進められている土地改良事業との調整が難航したことから、ルートの見直しを行い、投資効果の早期発現を図ることとした。			
対応方針	事業継続		
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は高く、早期の完成が必要と考えられる。		
事業概要図			

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※事業全体の費用便益は、既供用区間を除く区間を対象とした費用便益分析を行っている。